

2年3組 西仁連川源流での環境活動報告

1. 活動した地域について

私たちは、栃木県小山市にある西仁連川上流から小山運動公園付近までの西仁連川での様々な調査を行いました。

2. 西仁連川にゴミがあるために発生しうる問題

2年3組では、以下のような問題が発生すると予想しました。

- ・川が汚れる。
- ・川に近づいた生物が病気になる。
- ・ゴミが海に流れ、そのゴミを魚が食べ、魚が死ぬ。
- ・その川に生きている生き物が住めない環境になる。
- ・海の生態系が壊れる。

この中でも特に、「川が汚れる」ということに注目している生徒が多かったです。

3. 実際に行った活動について

2年3組が行った活動は以下の通りです。



①水質の調査

水質キットを使い、川の汚れ具合を調べました。

②生物の調査

川周辺の生物や植物について調べました。

③土地利用の調査

川周辺の土地がどのように利用されているか調べました。

④ゴミの調査

燃えるゴミ、ビン、カン、ペットボトルなどのゴミを種類別に分け、集めていきました。

4. 活動の結果

①水質の調査

西仁連川源流から小山運動公園までの区間 10 か所での検査をしたところ、最上流部では COD 濃度が 2 のきれいな水であることがわかりました。しかし、東山田から逆井までの COD 濃度は 8 のかなり汚れている水ということがわかりました。

②生物の調査

チョウやトンボなどの昆虫から、サギなどの野鳥がいました。また、川周辺にはシロツメクサ、コゴメギク、タンポポなどの植物が群生していました。

③土地利用の調査

穀物の栽培を行う田んぼや、キウイ畑などの果樹園などがありました。

④ゴミの調査

燃えるゴミで特に多かったのはたばこの吸い殻でした。プラスチックゴミでは、ペットボトルが多かったです。また、缶ゴミでは缶ジュースのごみが多く見られました。

5. ゴミを減らすために（2年3組の提案）

ゴミを減らすための個人から世界全体でできることを考えてみました。

個人でできることで特に多かった意見は、ゴミを捨てない、ゴミを捨てずに持ち帰るなどの意見がありました。学校単位でできることには、ボランティア活動をする、や、注意喚起の貼り紙を作るなどの意見がありました。地域全体でできることでは、町内放送や看板を設けるなどして、ゴミを捨てないということ呼びかけるなどがありました。また、ボランティア活動を定期的に行うことで落ちているごみを減らすなどの意見がありました。日本全体でできることには、罰金制度をつくるという意見がありました。また、監視カメラを設置しゴミを捨てている人がいないかを確認するなどという意見が出てきました。世界全体でできることには、プラスチックの生産を減らすことや、ゴミ箱を多く設置するという意見がありました。